時事新報定價

時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價遞送料廣告料ハ左ノ如シ

一枚二錢○一箇月前金五十錢○三箇月前金一圓五十錢○六箇月前金三圓一箇年前金六圓

○時事新報社ヨリ府縣ニ郵便ニテ遞送スルモノニ限リ本文定價ノ外ニ一箇月二十六錢ノ遞送料ヲ申受ク

時事新報廣告料前金

五號活字ニテ一行廿四字詰	一行ニ付一日限	一行ニ付二日以上六日迄	一行ニ付七日以上十五日迄	一行ニ付十六日以上
自一行至十行	十錢	八錢	七錢二厘	六錢八厘
自十一行至卅行	九錢	七錢	六錢三厘	五錢九厘五毛
三十一行以上	八錢	六錢五厘	五錢八厘五毛	五錢五厘

時事新報

米國の鐵道家に望む

日本の文明は今や正に進歩の最中にありて凡百の事物着々其面目を改むると共に又近來は鐵道の事業漸く振起して幾多の會社所在に興り官設に民設に東西相呼應する其中には計畫全く廢頽して空しく廢絶に屬そるもあらん又た或は漸々繁昌して芽出度奏功を祝するもあらん一二會社の盛衰興廢は固より免れ難き所なるべきと雖も日本鐵道事業の全體上より觀察するときは今後唯益々盛運に向ふのみにして決して退歩そるとなしと云ふて不可なかるべし然るに是れまで既に起業し又目下工事中なる鐵道は英國に軌條を購ひ技師を聘するものあり又近年の出來事にして時として之を獨逸に仰ぐものあり其取る所一様ならざれども毎度申す如く英獨諸國の鐵道は其外觀と云ひ構造と云ひ共に美にして備はれりと雖も隨て其代價も亦廉ならず之に反して米國の鐵道は唯その軌條の代價に就て英國に一歩を讓るのみにして其他は汽車機關車の製作より建築法一切些末の部分に至るまでも總て手輕にして便利を主とし世に輕便鐵道と稱せらるゝ程のものにして外觀は寧ろ粗末の方なれども費を省いて實用に差支なければ今の日本の經濟に照らし何れを取りて然るべきやと云ふに日本國人は外觀裝飾の如何を問ふに遑あらず此等は他日の談として差向きの處は單に實用を辨ずるを以て滿足せざる可らず即ち日本國は輕便鐵道の需要者たるべき身分にして其材料を米國に求むるは算用上損得利害を[illegible]まらざる者なりと雖も却て之を捨てゝ彼を取るは誠に惜しむべき次第のみならず米國も亦る輕便鐵道の供給者として當然に利すべきの利を利せざるは傍より觀て如何にも堪へ難きものゝ如し然り而して日本の鐵道事業の今日を限りに中絶するものあらんには既往今更如何ともし難しと雖も向來獨は益々盛運に赴くの勢なりとして相違なくんば我輩は米人が今後の爲め何分の方策を講じ其利益を利そると共に併せて米國鐵道事業の長所を示し以て永遠の爲めを計るの急なると知るものなり

[illegible]は其方策の一を擬するに今我國の書生にして米國に滯留する者は其數殆んど百千を以て數ふるの多きに及ぶと云ふ蓋し此等の書生の目的は農業に工術に商業に[illegible]す所あるべきは勿論なりと雖も其能く[illegible]し何に不足なく本來の目的を[illegible]穴隙を穿たんと欲するの比に非ず若し門を開いて之と迎ふる者あらば未定の方向忽ちに決し相率ゐて之に赴くを躊躇せざるに相違なかるべし況んや豫て自身の志望に合ふものあるに於てをや之を留めて駐む可らず是に於てか我輩は前陳米國の利益のため又我國鐵道事業の經濟の爲めに冀望する所のものあれは他なし彼の國には各鐵道會社を始め汽車機關車製造會社、隧道會社、架橋會社等凡そ此般の組織各地各所に乏しからずと云へば此等の會社が何れも皆彼の日本書生の爲めに特別の方法を設け之を雇入れて各種の事務に當らしめ會社は之に俸給を與ふるに及ばず書生は爲めに謝金を出そとと なさず雙方共に金錢の累なくして其代りに鐵道事業に就き書生の質問する所は會社に於て多少の面倒を厭はずして特に丁寧に說明を與へ以て實學を講習せしめんことを願ふものあり是れ即ち書生の一方より見るときは無月謝にて實業と學理と研究し得るの仕組なれば衣食の費用は自辨しても唯其修業の門戸の開けたるを見て來りて會社の爲めに如何なる勞働をも辭せざるべし勿論多數の書生として實業に就かしむるの傍に毎に說明の勞を執るは中々容易のとに非ず隨分煩はしき次第にして特別の謝酬を要するこゝとなれども若し又これにて不都合の廉あらば前陳の仕組を以て特に臨時の學校様のものを設置し日本書生を導いて之を教養するも亦可ならん其方法は兎も角も斯して數多の書生が米國の鐵道技術と學び其長所を知り得て他年本國に歸來そるや本國の諸鐵道は正に技師に乏しく理事者に事を缺く折柄必ず夫れ等れ事に當る可きは論を俟たず即ち日本の鐵道事業に米國の流と酌むの日にして世間は如何に歐洲の鄭重風に傾くも憚るに足らず當業者の心には曾て多年の薫陶を受けさる所ありて先入主座を占むるのみならず米國の長所利點忘れんと欲して算用上に忘る可らざるものあるより最早斷然固く執て動かず遂に擧つて米國流に化するの事實を見る可きなど米國の利益を収むるに足るべきは更に疑を容れざる所にして日本も亦經濟上に失ふ所なく共に利得を樂しむとなれば米人に取ても異議ある可らず日本人は唯其懇切の厚意と謝すべきのみ我輩は速に此一案の試みられんとを望むものなり

官報

○警視廳告示第五號

傳染馬病左ノ通リ通知アリ馬匹飼養者ハ此際豫防方注意アルヘシ

陸軍第一騎馬隊	六頭	皮疽病
埼玉縣下北埼玉郡桑崎村	一頭	炭疽熱
栃木縣下下都賀郡友沼村	一頭	皮疽病
同縣下同郡片柳村	一頭	同
群馬縣下佐位郡香林村	一頭	同

明治卅一年三月七日　警視總監子爵三嶋通庸

○非職滿期　非職元文部少書記官依田百川同元文部權少書記官菱田重禧は去る五日を以て非職滿期になりたり

雜報

○長野縣下書肆の困惑　長野縣に於ては今年一月學務課員及審査會を開らき全縣下の教課書を總て文部省出版のものと改定したるより同縣下の各書肆は大に當惑し昨今同業者[illegible]して種々相談を遂げ何とか今少しく改正を[illegible]合へとよし今其次第を聞くに[illegible]出版の教課書なるものは其大賣捌の特許を與ふること一縣下一箇所に限り割引は賣買直段の一割四五分と定まり居るを以て右特許の書肆は全縣下の大賣捌を掌中に握り他の各書肆は皆之れより受賣と爲さゞる可らず然るに特許者も三千圓の身元金と出し居るを以て割引一割四五分の内通例一割を自己のものとなし同業者には僅か五分位の口錢にて卸すことゝなり故に受賣人が此五分の内より運賃其他の費用を差引く時は殆んど利益なくして營業相立ち難し併し古來れ店様に對する面目もあれば縱令利益はなしと雖も得意の客よ對して賣捌かんと欲するに右の如く大賣捌が一縣下一箇所あるが故に各小學校春の試驗、秋の改革にて不時に多數の書冊を要するときに際して仲間同志の融通相付かず事に依り書籍の取寄に二三ヶ月も掛る抔にて自分は勿論果ては學校までも其影響を蒙る等旁々の事情あるに因れりと若し左れば同業者は責めて教課書中の幾分なりとも民間編纂の教課書を用ふることと許し一方には利益と平準にそべき路と開らき一方には急速の間に應じ難くして教育上に不都合と與ふる弊を斷ちさしとて種々奔走中なりと云ふ

○北陸鐵道　福井縣下越前敦賀より加州金澤に達せる鐵道を敷設せんとい先年より同地方に行れさる說にして既ょ其計畫も略整頓しゐる由は豫てより聞く所なるが今度更に其線路を延長して越中富山に達せんとするものと能州七尾へ敷設そるものとの二說起りて發起者の意見は未だ孰れとも決定せざりしかば此程右の會議と開き頻りに其得失利害と討議し居るよしなるが多分其線路は敦賀より金澤と經て富山に達するの說に決するならんといふ

○實地に就ての演說　大坂尋常師範學校生徒百餘名は近日長途行軍を爲し專ら實地に付き地理歷史上れ事と研究せんとする趣なるが何は稲子嶋同校長は維新の際薩藩の隊にて伏見に激戰せしとありし人なれば同行軍中伏見鳥羽街道筋ょ於て當時の實況を詳細ょ演說そる筈なりと

○京都本派本願寺れ大教校　同校は創立以來益々盛大にして生徒の數も次第に増加し本年二月は本科を卒業そるもの二十名、右證書授與式は先月十一日に擧行し卒業生へは穿袖衣袍、墨袈裟一領宛を賞與したり當日來賓は百餘名正午式終りて午餐を饗し午後は理化學の實地試驗及び幻燈會等と催ふし頗る盛會なりしよし因に記す同校在學れ生徒は先頃より課業の餘暇を以て無謝儀英學出教授を始めたる所市民の招聘に來るもの中々に多く既に七八箇所の教授を負擔したりと

○東本願寺の學校　此度西京にて高等中學校の設立あるに付ては府會の議決に由り從前の尋常中學校は廢止の筈なり斯くては最早高等中學に入學すべき豫備學校はなくなる道理にて只新嶋氏の同志社は稍々其欠を補ふものなれども宗旨敵きの意味にて佛教信者には稍も迷惑少なからざればとて東本願寺は右廢すべき尋常中學校を來月より其儘ソックリ引受け毎年六七千圓づゝ出金して永續の法と立て之れに同寺の普通學校を合併して僧俗混合の學校となし又別に佛教の大意を教ゆべき課目と設け望みに應じて一般生徒の聽聞をも許すの趣向なりと云ふ

○日本軍人の結婚　陸軍大學校雇ひ獨逸人メッケル氏は近々の內本國なる獨逸に歸るとの事なるが此話は少しく舊聞に屬するやも知れざれども今同氏が我國將校の事ょ付て彼我習慣の著しき相違を感せしと云ふ話を聞くに元來我國[…]れの彼に劣るは[…]けれバ高きに從[…]至るは自然の狀[…]きも大抵三十前[…]くべき程の事[…]其他生計の度[…]行はれ居るに[…]なる上に軍人の[…]軍人は一旦事[…]るを要するな[…]爲めに斯る勇[…]と以て此等の[…]も軍人の結婚[…]ならざれども[…]方なり去れバ[…]外人の考を以[…]してメッケル[…]居る由因に記[…]云ふ

○國政醫學會[…]九番地地學協[…]郷吉義(中毒論[…]り畢りて討論[…]

○下谷教育會[…]れたるに會す[…]幹事を互撰し[…]し夫れより諸[…]るの可否と云[…]

○盲人教育會[…]十五萬餘の盲[…]を送る者の多[…]け學事針術按[…]むる積りの由[…]番地なりとい[…]

○博聞社　昨[…]失後鎗屋町に[…]が其工事も粗[…]の手筈なりと[…]

○世界最大の[…]トン丘の觀測[…]巨大のものに[…]なるべしと云[…]ならざれども[…]ざりしが今回[…]上有益なる發[…]三千六百メイ[…]理距たりさる[…]分明に見得る[…]

○巡査の年金[…]關根義、市川[…]廉と以て年金[…]於て申渡され[…]

○黒磯土釜[…]燒出し民俟道[…]少太きに過る[…]に拘はらず常[…]引合ざる模様[…]

○診候描寫圖　[illegible]定價一冊一付金十五錢
右此度發賣ニ付廣告候也
馬喰町騰利本店○本郷春木町騰利支店

●速記學　[illegible]一月開業入學ヲ謝絶セシガ今般教所ヲ新設シ本月十日迄無束脩入學ヲ許ス但満員ニ至ラバ止ルコアルベシ
●商法速記講義録八冊定價四十八錢●當舍刊行
●中村先生題字、官用速記教科書定價三十錢、同[illegible]

父　以伯　昨七日午前十一時四十分致病死候ニ付此段辱知諸君ニ報ス
三月八日　日本橋區下槇町十四番地　天方祐順

麹町區内幸町[…]地ニ在ル家[…]前九時ヨリ[…]場熟覧スヘ[…]
二十一[…]